



3年生・専攻科2年生 全員が進路決定!

3月2日、3年生97名、専攻科2年生16名が無事卒業並びに修了を迎えることができました。全員が進路も決定し、いよいよ新たな道に漕ぎ出して行きます。卒業・修了はもちろん、進路決定においても多くの方々に支えていただいた事への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

(3年生進路決定状況)

就職者：57.7%，進学者：42.3%

学科	生徒数	就職合計	商船	漁業 養殖	情報 通信	製造 販売	その 他	公務 員	進学 合計	大学 等	専門・ 海技短	専攻科
海洋科	40	17	9	5			3		23	4	5	14
情報通信科	34	19			13			6	15	1	1	13
食品工学科	23	20	7	2		7	2	2	3		3	
合計	97	56	16	7	13	7	5	8	41	5	8	27

(県内・県外就職者の状況)

	県内就職 (%)	県外就職 (%)
令和7年度	26.1 (12/46)	73.9 (34/46)
令和6年度	34.0 (16/47)	66.0 (31/47)

※公務員，自己・縁故就職は除く

(専攻科2年生進路決定状況)

学科	学生数	商船	漁船	情報通信	公務員
海洋技術科	2	2			
機関技術科	7	5	1		1
情報通信科	7			6	1
合計	16	7	1	6	2

進路先の詳細は学校のホームページに掲載いたしますので、そちらもぜひ御覧ください。



進路ガイダンスを開催

今年度は3回(7月、12月、3月)の進路ガイダンスを計画し、3月13日(金)に本年度3回目の進路ガイダンスを実施しました。当日は対象となる1、2年生170名に対して専門学校5校と企業や公務員関係の15社に参加していただきました。体育館や教室に説明ブースを設置し、生徒は事前



に選んでいた3つのブースを回る形式で行われました。生徒達は学校や企業の方々の話を近い距離で聞くことができ、真剣かつ楽しそうな様子で担当者の話を聞いていました。

進級を目前としたこの時期に改めて進路について考える良い機会となりました。

来年度も同様に進路ガイダンスを計画しています。生徒のためになる内容となるように計画していきたいと思っています。



1. 2年生へ（進路指導部より）

—「今」動き出すことが、未来を広げる—

まもなく新しい学年が始まります。

1年生にとっては「高校生活に慣れ」少しずつ将来への目標を意識するようになった時期で、2年生にとっては「進路」という言葉が少しずつ現実味を帯びてくる時期です。

皆さんにとって進路とは、将来のゴールを今すぐ決めることではありません。

「自分は何に興味があるのか」「どんな場面で頑張れるのか」「どんな大人になりたいのか」などを少しずつ意識することがこれからの進路選択につながります。

① 今の学年で大切にしてほしいこと

- ・ 日々の授業・実習・学校生活を大切にすること

成績だけでなく、取り組む姿勢や継続力は必ず将来につながります。

- ・ 興味をもったことには一歩踏み出すこと

部活動、資格取得、ボランティア、体験学習など、小さな挑戦が自分の可能性を広げます。

- ・ 「わからない」をそのままにしないこと

先生、先輩、家族に相談することは、成長の第一歩です。

② 進路希望は「変わっていい」

今考えている夢や目標は、これから変わっても構いません。日本国内の仕事の種類は1万8000種以上あるとされています。その中で本当に自分に合った仕事を見つけるのは容易ではありません。

でも、大切なのは、**考えることをやめないこと**、そして**情報を集め続けること**です。

新しい学年は、自分を見つめ直し、未来を描く大切なスタートラインです。焦らず、しかし確実に、一歩ずつ前に進んでいきましょう。

保護者の皆さまへ

—生徒の成長を、共に支えるために—

日頃より本校の教育活動並びに進路指導に対するご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新学年を迎えるこの時期は、お子さまの心と体、そして将来への意識が大きく成長する節目でもあります。思春期の進路選択は、本人にとって不安や迷いを伴うものです。その中で、保護者の皆さまの存在は何よりも大きな支えとなります。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。

ご家庭で意識していただきたいこと

- ・ 生徒の話に耳を傾けてください

進路について悩んだり迷ったりすることは、成長の過程として自然なことです。まずは否定せず、思いや考えを受け止め、話を聞いてあげてください。

- ・ 結果よりも「過程」を認める声かけ

進路は進学先や就職先といった「結果」だけで評価されるものではありません。それに向かって努力する姿勢や日々の学校生活での取り組みこそが重要です。「頑張っているね」「継続できてるね」という一言が、子どもの自信につながります。

- ・ 価値観を押しつけすぎないこと

保護者の皆様のご経験やご意見はお子さまにとって大変参考になります。しかし、助言は大切ですが、最終的に進路を選ぶのは本人自身です。

- ・ 学校との連携・情報共有

進学・就職に関する不安や疑問は、遠慮なく学校へご相談ください。

私たち教職員は、お子さま一人ひとりが「自分らしい進路」を見つけられるよう、全力で支援してまいります。ご家庭と学校が同じ方向を向き、共に歩むことで、進路指導はより実りあるものになります。今後ともよろしくお願ひいたします。